



和田前会長と私 写真提供：岐阜新聞

白川郷の合掌造り



第 25 号
令和5年3月31日

発行 (-) 世界遺産白川郷
合掌造り保存財団
岐阜県大野郡白川村荻町
2495番地の3

輝かしい未来に向かって

白川郷荻町集落の
自然環境を守る会会長 野谷 信二

守る会を発足、また住民憲章を制定しました。後にその活動が評価され、昭和五十一年に国の重要伝統的建造物群保

令和三年度、守る会は設立五十一年の節目を迎えました。この五十年はまさにめまぐるしく状況が変化し、まさに怒涛の五十年とも言える時代だったのではないでし

うか。昭和二十五年以降、高度経済成長と共に合掌家屋が激減する時期がやってきました。その中でこの素晴らしい遺産を残そうと住民が立ち上がり、昭和四十年代より保存活動がスタートし、昭和四十六年に

存地区に選定され、平成七年の世界遺産登録に繋がったと聞いています。この長きにわたり保存活動にご尽力くださったすべての皆様に感謝の気持ちをお忘れず、新たな時代に立ち向かう思いであります。令和四年度より荻町自然環境を守る会の会長職に就任し、まず実行したいと思った事が、自分の職(茅葺き職人)を生かし技術の継承を目的とした、茅葺き技術を学ぶワークショップ(勉強会)でした。時代の流れと共に結による屋根葺きが減少している中で、若い世代が屋根葺きに参加する機会が減っています。その思いから技術を教える事も大事ですが、少しでも合掌を守ることに興味を持って頂けたらいいなあという思いで始めました。今回は合掌組合に加入しているご家庭の若手(四十五歳以下)の方すべてに声をかけ参加を促し、二十名ほどの方に参加して頂きました。今回は合掌の木材と木材をつなぐ「ハコ



ワークショップの様子

マキ」と、屋根葺き時で使用する「ツノ結び」に重点を置き指導しました。この結び技術は実際に継続してやらないと難しい作業でもあります。最初は手こずって思うようにはいかなかったと思いますが、お互いに模索して繰り返し体験する姿、熱心・素直に習おうとする姿に、習得したいという気持ちがつくづく見て伝わってきました。その姿に凄く頼もしく感じ、安心した気持ちになりました。終わった後に「いい勉強になりましたーありがとうございます」と言葉を頂いた時には感極まり、喜ばしい限りです。今後も長く継続できるよ



茅葺き職人として 写真提供：白川村役場

うに活動していく次第です。さて、近年の人口減少や少子高齢化による担い手不足で生じる空き家問題は今後の重要課題の一つです。白川村もその例外ではなく、荻町集落を未来へ継承するため守る会（拡大役員）・区（区長、副区長）・行政（観光振興課、教育委員会）・合掌造り保存財団が連携して『荻町構想計画会議』が発足し、問題解決に向けて会議を重ねて実施しています。自身の所有している物件の今後に不安を感じている方が少なからずみえる中で、具体的な相談が数件寄せられている現実に直面してお

ります。住民憲章（売らない、貸さない・壊さない）がある一方で、守りたくても守つていく事が難しいという現実が見える中、貸さないの緩和について、ルールを明確にし、更により良い道筋・体制が構築できるように模索して進めていきたいと強く思います。時代の流れを考慮しながらさらにより良い未来に向かって行けるように今後も荻町、ひいては白川村がひとつとなり次世代の子どもたちのために、このすばらしい白川村を継承していきたいです。今後もしもご理解とご協力をいただければ幸いです。



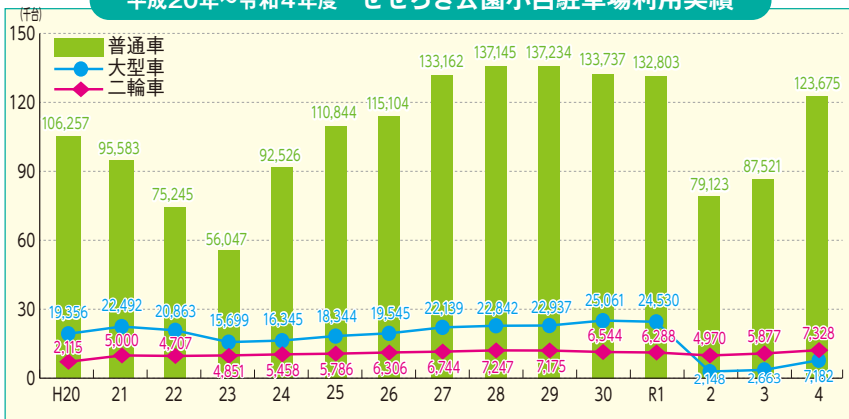
年度後半にかけて入込が回復

令和4年度せせらぎ公園駐車場の普通車利用台数は令和元年度以来3年ぶりに10万台を超えました（みだしま・寺尾臨時駐車場も含めると約15万台）。全国旅行支援が開始されたこともあって、特に秋の紅葉シーズンである10月11日にはひと月にそれぞれ約1万4千台もお越しいただいています。また1月には駐車場開設以来からの統計で1月過去最多の8,371台の方に来場いただき、冬シーズン（12月・1月・2月）としては3番目の多さとなりました（最多は令和元年度12月の8,738台）。

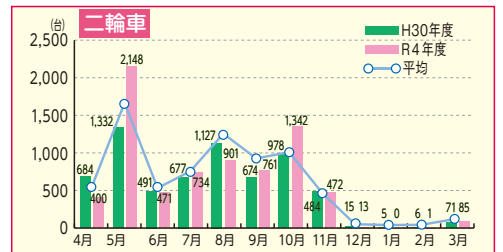
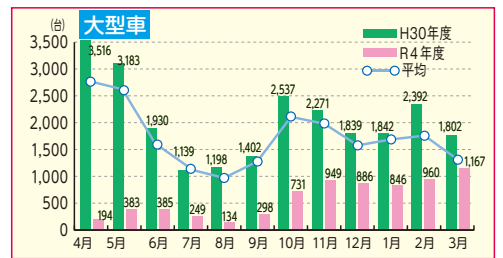
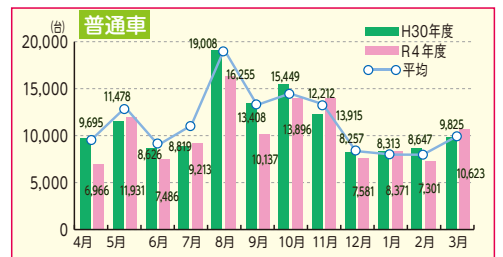
一方、大型車に関しては昨年度よりも倍以上の台数でお越しいただいたものの、今年度も1万台を超えることはありませんでした。それでも、上半期（4月～9月）は1日平均9台程度でしたが、10月に国の水際対策が大幅に緩和されたこともあり、下半期（10月～3月）は1日平均30台も来場いただいています。年度内では、3月に一番多くお越しいただいており、ひと月に1千台を超えていることから、団体ツアーについても回復してきていることがうかがえます。

来年度からは新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけも下がることとなっているため、以前のような活気ある駐車場に戻ってくるのではないかと期待しております。

平成20年～令和4年度 せせらぎ公園小呂駐車場利用実績



過去5年間とH30・R4年度の月別平均比較



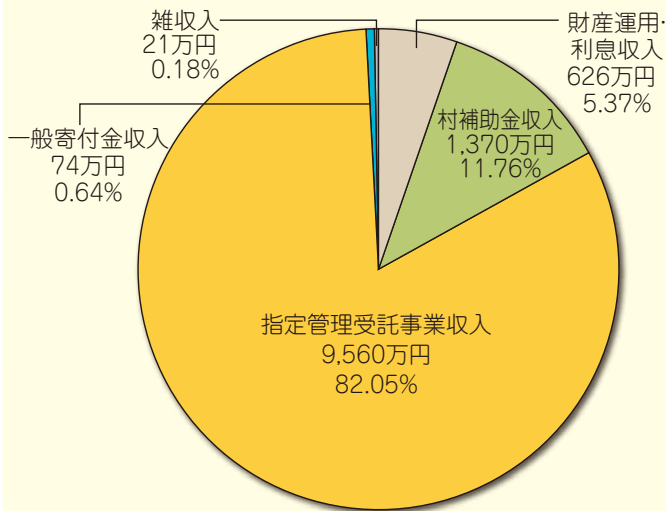
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

令和4年度

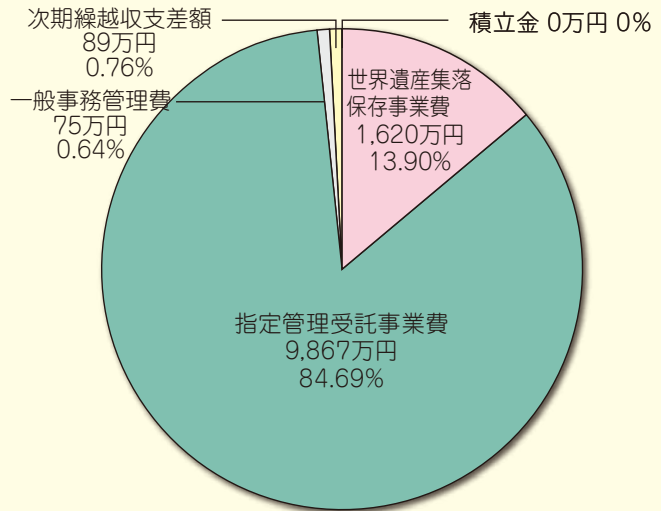
会計のあらまし

財団が、どのような収入を得て、どのように支出しているのか、令和4年度の会計状況をお伝えします。

歳入 1億1,651万円



歳出 1億1,651万円



令和4年度の主な事業

1. 修理事業		4,995,000円
差し茅	7棟	798,000円
伝統的建造物修理	2棟	228,000円
棟茅葺替	93/108棟	3,969,000円
トタン屋根葺替		0円
2. 修景事業		3,984,408円
修景協力費助成	4棟	730,000円
トタン屋根葺替		0円
ビニールシート指定色奨励事業	21枚	240,740円
一般建築物茅屋根補修	棟茅4棟 葺替1棟	2,898,000円
オダレ助成	17枚	115,668円
3. 地域活性化事業		1,763,734円
自治保存会活動費助成		1,000,000円
自治保存会育成事業		0円
人材育成事業		26,984円
茅の自給率向上施策と調査研究		736,750円
4. 水田復旧事業		2,358,476円
復旧農地の維持管理・活用	水田42.5a、畑0.7a	2,358,476円
合計		13,101,618円

財源内訳

村補助金	13,000,000円
基金運用利息	101,618円
合計	13,101,618円

財団は世界遺産集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の受託費で賄われています。設立当初よりせせらぎ公園駐車場と付随する総合案内所の管理運営業務を行い、引き続き、みだしま農村公園駐車場・寺尾臨時駐車場を含め繁盛期の渋滞緩和にも努めています。

駐車場で徴収された駐車料金は村に収納され、駐車場や施設の維持管理費に当てられ、一部は管理受託費として財団の歳入となります。また、世界遺産地区の修理・修景助成、地域振興策等にも使われ、事業計画に応じ村から補助金として入ります。

令和4年度のせせらぎ・みだしま・寺尾駐車場の総収入は、年度途中からのコロナウイルス感染症の規制も緩和され、前年(9,660万円)比2割増の17,360万円となりました。普通車入込台数はピーク時の9割以上まで回復しているものの、バス等大型車入込はピーク時比較の約3割弱の台数に留まっています。受託事業費として9,560万円、集落整備事業及び運営費補助金として1,370万円を村からの収入とし事業を行いました。

基金は約7億330万円、令和4年度は626万円の財産運用利息収入となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

財団が保持している基金の現在額(令和5年3月)

基本財産	302,361,000円
特定資産	400,943,373円
合計	703,304,373円

次世代の遺産保存につながる人づくり活動

人材育成事業

集落の伝統や景観を次の世代へつなぐため、平成16年度より白川郷学園の合掌造りの仕組みについての学習のサポートを、平成26年度より田畑づくりに関する肥料や苗・種の助成を行っています。

白川郷学園5年生のもち米作りへの助成

今年度はもち米の稲苗代や肥料代への助成を行いました。また田植え時には職員も少しだけ様子を見学させてもらいました。

親子で協力しあいながら、田んぼに線を引いたりその線に沿って児童の皆さんが苗を植えたりしていました。学園田では苗を手で植えているため、中にはバランスを崩して泥だらけになる子もいたようです。そのようになりながらも楽しみながら田植えをすることができました。



白川郷学園畑への野菜・花苗助成

今年度はスイカ、トマト、ピーマン、枝豆、あさがおなどの苗・種子代を助成しました。



いつまでも美しい景観と伝統を未来へつなぐため、これからも担い手づくり活動を積極的に行います！

水田協力隊の皆さん 今年もありがとうございます！

今年も財団の田作りにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！今年には計6名の方にお手伝いいただき、村内だけではなく村外からも駆けつけてくださいました！

財団が耕作している田んぼは機械が入らないところが多く手植えで大変ですが、毎年皆さんに頑張ってもらっているおかげでとても助かっています。これからもご協力よろしくお願いします！



田植え・稲刈りをお手伝いしたい方🙌大募集中！！
ぜひ一緒にやりましょう！

荻町集落の景観をまもるために…

水田復旧事業

平成16年度より荻町集落の景観を守ることを目的に、休耕田への田植えやさつまいも畑づくりを行っています。今年度も田植え後に水田協力隊の皆さんに間差しをしてもらったり、白川郷学園の児童の皆さんと一緒に畑作りを行ったりしました。

白川郷学園2年生とのさつまいもづくり

今年度も2年生12名の皆さんと一緒に行いました。

6/1…苗植え まず、なぜここにさつまいもを植えるのか、植えることで展望台からの景色がどう変わるのかを、写真を使い学びました。その後、いよいよ苗植えです。日差しも強くなく穏やかな晴れ間の中、列になって順番に合計100本の苗を植えます。児童の皆さんが『大きく育つのが楽しみだなあ』とワクワクしながら植えている姿を見て、私たち職員もそのようになると良いなと思いました。最後に一人1回ずつ苗に水をやり、作業を終えました。そのあと児童の皆さんは歩いて展望台に上がり、実際に苗を植えた場所を確認し、いもが成長した際、景観が良くなることを確認しました。

10/6…いも掘り 秋になり待ちに待ったいも掘りとなりました。うきうきした様子で畑までやってきた児童の皆さん。まずはいものつるを引き抜きました。引き抜きながら小さいいもが出てくると嬉しそうに『出てきたよ!』と喜んでいました。いものつるを全て避けてから掘り方を習い、一株ずつ掘り始めました。掘りながら『わあ!いもが見えてきた』『このいもは大きい感じがする!』と児童の皆さんは楽しみながら掘り進めていきます。いもが掘れると嬉しそうに『採れたよ!』と報告してくれました。大きささまざまないもがありましたが、手箕5個分を掘ることができました。その後、いものつるでリースを作ります。それぞれが思い思いのリースを作りました。ネックレスや指輪、眼鏡、リースを冠にしてみたり、先生に手伝ってもらいながらつるで鎧を作ったりと個性豊かなリースができました!



苗植えからいもほりまで児童の皆さんだけでなく、職員もとても楽しみながら景観を保全することができました。ありがとうございました!



ありがとうございます

寄附金ご協力者一覧 (敬称略)

皆さまからいただきましたご厚意に心より御礼申し上げます。

ご協力いただきました皆さまをご紹介いたします。ありがとうございました。

令和4年度

- 長野県 木内美穂
- 岐阜県 株式会社林工務店
- 岐阜都 可児洋明
- 神奈川県 生田信行
- 岐阜県 株式会社三輪酒造
- 岐阜県 山田昭男
- 兵庫県 西本喜久子
- 愛知県 大森國雄
- 滋賀県 株式会社文教スタジオ

竹筒募金

- 国重文 和田家
- ふる郷 長瀬家
- 神田家
- 県重文 明善寺
- 美然ゆめろむ館
- 合掌造り民家園
- じば工房
- トヨタ白川郷自然学校
- 民宿 十右エ門
- 民宿 志みづ
- 民宿 のだにや
- 民宿 久松

- 民宿 ふるさと けやき おいしんぼ
- 民宿 きどや ぜん かたりべ
- 民宿 幸工門 与ぜ 白川郷ぶりの家
- 民宿 利兵衛 白水園 山楽堂
- 民宿 一茶 いろいろ おけさ
- 民宿 かんじゃ 喫茶 さとう ぜん助
- 民宿 孫右エ門 お食事処 天守閣 てづか民芸品店Neo
- 民宿 文六 どっこらしよ 佐藤民芸品店
- 民宿 源作 あらい 今藤商店
- 民宿 よさち ます園 文助 こびき屋柿の木店
- 民宿 大田屋 柗 めめんこ
- お食事処 忠兵衛 コーヒー屋 鄙 こびき屋
- 白楽 合掌 古太神
- 心花洞 そば脇本 道の駅白川郷
- 結の郷 盛善 鳩谷郵便局
- いっぷく ちな 一飛 白川村役場
- 飛騨路 恵びす屋 てあいの館
- 手打ちそば処 乃むら
- しらおぎ
- 落人
- しあわせ屋 吉兵衛
- たなか屋

現在店舗に合掌基金募金箱の設置がなく、設置希望の方や、募金箱の破損などありましたら当財団までご連絡ください。



世界遺産白川郷合掌集落保存基金にご理解とご協力を

合掌財団では、合掌造り集落の保存とその集落内の住民の暮らしを守るため、合掌家屋の修理や集落の修景などの景観保全に関わるさまざまな課題に対応し事業展開しております。

これらの事業は、基本財産から生じる運用益を活用して行っていますが、その運用益だけでは必要事業費にはるかに及ばない現状です。そのため、岐阜県の助成を得ながら緊縮した村会計から捻出して対処しています。今後、当財団に要請される

事業が、社会情勢の変化にともなっています。多様化し、一層責任が増大していくものと予想されます。

当財団が、このような課題にできるだけの確に対処できる体制を整えることが、世界遺産合掌集落の保存に欠かせない条件です。この趣旨にご賛同いただき、皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。

基金に対するご寄付お送り先及び資料請求先

振替による場合

- ※事前に右記の連絡先にご一報いただくと幸いです。
- ★【口座名義】世界遺産白川郷保存基金
- ・飛騨農業協同組合白川支店 (普) 9203800
- ・郵便振替口座 00810-6-51954

現金書留による場合及び資料請求先

- 〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3
- (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団
- TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113
- ☆インターネットでも受け付けています。
- <http://shirakawa-go.org/zaidan/>

令和4年度当初は前年度に引き続き日本人観光客が多数を占めていたが、6月・9月・10月と国の水際対策が緩和されたことに伴い、年度末には外国人観光客も増えてきました。普通車に関しては感染拡大前に匹敵するようになり、大型車に関しては依然として活気は戻ってきていない現状です。そのような中でも、修学旅行シーズンには5台以上の団体で越えたいという旅行ツアーでそれぞれ2台程度ではあるもののお越しはありました。少しづつではあります。前年のバス駐車場が埋まる日が多くなっております。新年度(大型連休明け)からは新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変わるため、それがどのように変わっていくのか注視していきたいです。

感染拡大以前に一度、白川郷学園の皆さんと北方小学校との交流事業で荻町集落内を借りている水田の間差しを行いました。今回は水田協力隊の皆さんと一緒に間差しを行いました。久しぶりに水田に入り体が鈍っていたのもあってか、翌日筋肉痛が……。新年度はそうならないように、少しでも鍛えないといけないかなあ...と思いました。

編集後記

お詫びと訂正

本紙面「白川郷の合掌造り」第 25 号（令和 5 年 3 月 31 日発行）3 ページの『会計のあらまし』記事に誤りがありませんでした。

・紙面右下文中 14 行目

誤) 前年（9,660 万円）比 2 割弱増 の 17,360 万円

正) 前年（9,660 万円）比 1.8 倍増 の 17,360 万円

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを訂正し深くお詫び申し上げます。